分）が全部売り切れ、舌鼓を打ちながら、多くの住民そして外国人が青空の下でゲーム等を通して国際交流を楽しんでいました。この様にメディア（TV・新聞・ラジオ等）を活用していつも情報を発信するように心がけました。

このほかに、施設の充実を図ることで来館者増に繋げようと、JICA研修員が来日するときに、母国の絵本を提供していただき、非常に珍しい開発途上国の絵本約300冊を平成16年7月から「世界の絵本コーナー」として図書資料室の一角に常設で設置し、メディアに何度も取り上げていただき、多くの子供たちに絵本に親しんでもらっております。

また、新規事業を実施することにより、森の交流館、JICA国際センターに足を運んでもらえるものと考え、職員に負担の掛からないような運営方法により、例えば、十勝管内の高校生を対象にして、英語で異文化交流を高校生自ら企画立案で実行する「高校生フェスタ・イン・十勝」も平成15年から毎年行っています。

世界のともだち、仮設のステージ上で各国のダンスを披露

館内の調理室で世界の料理づくりに挑戦する子どもたち

それから、このエリアの中だけで事業を実施していても来館する人は限られると考え、十勝インターナショナル協会（事務局：森の交流館・十勝）がエリア内の事務所（JICA・NRC・JICE）の多大な協力を得ると同時に参加団体等のご尽力もあって、初めてこのエリアから飛び出し都心部の十勝唯一のデパート藤丸のカルチャーホールにおいて、一週間のロングランで十勝の国際交流の紹介を実施しました。多くの住民に十勝の国際交流を知っていただく機会を作り、平成15年から実施し好評を博しております。

それから、近隣の小中学校の遠足などに利用していただくために、森の交流館の前庭に水のみ場を設置して利便性を高めることにより多くの学校、幼稚園、保育所で利用していただけるようになりました。

この様に様々なことを関係機関やスタッフの協力を得ながら実施することができ、15年度から毎年入館者が増加し、この素晴らしい「森の交流館・十勝」そして「JICA国際センター」を十勝住民の方々に知っていただく機会を提供でき、少しはお役に立てたのかなと思っております。

前館長・及川健一（現帯広市商工観光部商業課　課長補佐）

森の交流館・十勝のこれから

ーこの10年の糧、参加型から市民の意欲をサポートする立場へー

森の交流館・十勝での10年という歳月は私たちが目標とする国際交流を達成するにはまだ日が浅いものの、その交流活動の足跡は多岐にわたっており、各方面でも高い評価を受けております。地域の国際化、国際理解の醸成は、交流活動の活発化と正比例するところもあり、今まで行ってきた草の根交流が国際理解をすすめる上で、誠に大きいものと思われます。

四季のお茶会（茶室）

自治体の国際化に果たす役割は、時代の潮流に乗って民間主導へと移行されつつあります。また、これからの活動目標は多文化共生の社会の実現ですから、その活動範囲は地域が中心となってきます。そもそも国際交流は広域性の高いものなので市町村ごとにこのような地域国際交流施設は必要ではありませんが、活動に際しては地域性を取り入れることが重要になってきます。

ハロウィーンパーティ2004

したがって、これからの活動方法については、地域性を国際交流に如何に結び付けることが出来るか、いわば中間支援型の活動方法が求められています。団塊の世代を中心として高まりつつある、市民の地域づくりへの参画意欲を十分に活用していくためにはサポート、コーディネートという中間支援型の活動が重要になってきます。森の交流館・十勝はこれらの要請に応える事が出来るよう、様々な活動を通して新たな視点から活動を展開していくことが重要と考えております。

なぜ、地域社会の発展のために多文化共生の取組みが必要なのか、なぜ、外国人を隣人として受け入れて共に社会を創っていくのかということを明らかにしていくことが必要です。そのためには、今までのような参加型の機会を求める国際交流だけではなく、意見交換のできる場の提供を目指していくことが重要なポイントです。

森の交流館・十勝ではこの10年間に得られた様々な出来事を糧に、今後は既存の枠を超えて国際交流・協力、多文化共生を進めることで着実に育った国際交流を形よりも継続できる中身を創っていくことに、力を傾けたいと思っております。

地球上の人と人との交流、地域と地域の交流、また、国と国との良好な交流が続くことが世界平和の礎になることは、誰しも疑う余地はありません。

現館長・神田亜紀志（兼帯広市企画部国際交流課　課長補佐）

メッセージ

おわりに

開館10周年を迎えた今、「多文化共生社会」…人々が様々な文化の違いを認め合って共に暮らしていく社会…を目指し、森の交流館・十勝は地域の交流拠点として成長し続けます。

森の交流館・十勝

3,000本あまりの亜熱帯樹を植栽したウィンターガーデン、多目的ホール、図書資料室、茶室、調理室などを備えている。木造一部鉄筋コンクリート造り、地階、地上2階建て。

〒080-2470　帯広市西20条南6丁目1番地2
電話 0155（34）0122